

杏林大学×羽村市



「運動の魅力と効能～自分の体と仲良くして充実した人生を送るために」 ～講演会開催～ <羽村市生涯学習センター ゆとろぎ>

1



石井博之先生

2月24日 保健学部 石井博之先生による講演会では、無理なく続けられる健康づくりのポイントをわかりやすくお話していただきました。頑張っても食事制限して運動しても、リバウンドしてしまう先生自身の経験から楽しく継続していく事が大事、というお話に参加者から共感の声があがりました。体を動かすとき、効果があるかどうかばかりを気にせず、健康で豊かな人生を送るために、みなさんも運動を始めてみましょう！

体を動かすことが大好きで
「自転車に乗ることが趣味！」



講演会情報はコチラ →



2

「子供の虐待防止～地域の大人が子供達にできること～」 ～講演会が開催されました～



加藤雅江先生

11月5日(木)羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」にて「子供の虐待防止～地域の大人が子供達にできること～」をテーマに、杏林大学×羽村市公開講演会が実施されました。保健学部健康福祉学科の加藤雅江先生により、ソーシャルワーカーとして勤務した経験をもとに語られるお話は、多くの参加者にとってまさに格言の宝庫でした。

地域全体で子供を安全に守り、ともに育てていくことは子供に関わる全ての大人をもサポートしていくことにつながり、人と人との結びつきを強めます。今回の講演会で学んだ参加者がそれぞれの地域でその学びを活かすことで、愛着ある温かな地域コミュニティが広がっていくことでしょう。

講演会情報はコチラ →



3

田口晴彦先生による サイエンス講座が行われました

10月25日(日) 羽村市生涯学習センター ゆとろぎ で田口晴彦先生の講座が行われました。「からだを守る免疫・感染症を防ぐしくみ」をテーマに人類と病原体との闘いの中で獲得されてきた、免疫のしくみを分かりやすくお話していただきました。新型コロナウイルス感染症拡大が問題となっている現在、身近な問題の取り組みのサイエンス講座は好評で参加者は熱心に聞き入り、感染症を予防し健康な生活を送る意識の高さをうかがい知ることができました。

「からだを守る免疫…感染症を防ぐしくみ」



田口晴彦先生

人類と病原体とのたたかひの中で獲得されてきた免疫のしくみをやさしく学びます。

- <内 容>
- ① 人類の感染症とのたたかひと免疫のしくみ
 - ② 自然免疫と獲得免疫とは？
 - ③ 免疫とワクチン
 - ④ 新型コロナウイルス感染症で現在わが国に感染していること



講演会情報はコチラ →



第12回大学コンソーシアム八王子学生発表会にて奨励賞受賞！



12月5日・6日に行われた学生発表会で、総合政策学部 田中 信弘ゼミナールが**奨励賞を受賞**しました。「民間の力で空き家を再生」をテーマに口頭発表(オンライン)がなされ、例年とは異なる形式での開催となりましたが、参加学生による活発なディスカッションが行われ、熱気ある学生発表会となりました。

代表学生である3年の野呂瀬 世史輝さんは「実現可能性等の見地から具体的なコメントを審査員の方に頂き、八王子市に空き家問題の解決の重要性を示唆できたことにはやりがいを感じました。」とコメントしています。





Mitaka Network University's 15th Anniversary Event



三鷹NW大学 開設15周年記念事業がオンライン開催されました。〈2/14配信START〉

本学からはパネリストとして大瀧学長が参加しました。また、学生によるミタカ・ミライ研究アワード2020の発表会では外国語学部(学生代表:陳桃子さん・高階柗太郎さん)及び総合政策学部(学生代表:樋口拓也さん)から発表がありました。ウィズコロナ、ポストコロナ時代を視点に、三鷹ネットワーク大学推進機構理事長はじめ理事の皆様や三鷹市長によるディスカッションを行い、これからの生き方や自治体・大学等のあり方役割等を探るなど、「民学産公」による協働の新たなステージを考える機会となりました。



2/27(土)ミライ研究アワードの発表 発表・審査会は、YouTubeで配信をしています。ぜひご覧ください▶

陳桃子さん

「コロナ禍での三鷹市内の店舗・施設と集客と新たな魅力発信の可能性の探索による地域の活性化」について発表しました。時間と労力をかけた素晴らしい成果とコメントをいただき、緊急事態宣言下での制限された活動でZOOM利用やリモートも駆使した話を披露してくれました。世代別の散策コースを紹介していますので幅広い年齢層の方にお楽しみいただけます。 <2:31~2:43>

高階柗太郎さん

健康歩きマップ」の作成を発表しました。中高年者をターゲットにした、地域の賑わい創出・コロナ禍の「マイクロリズム」(身近な楽しみ)に焦点をおいたマップで、審査員の方から感染リスクを考慮した屋外ウォーキングへの着目点良かった、今後支援をしたいとコメントをいただきました。今後の課題として、高齢者の健康データ測定が出来なかった事が挙げられ、観光資源の楽しみ方について、ボランティアの方々に改善点等ご指示いただきました。 <3:19~3:31>

樋口拓也さん

「マインドフル三鷹プロジェクト」・ストレス等身体的状況を受け入れる心を育む訓練について発表しました。マインドフルネス実践の様々な方法を紹介し、地域住民の方に心の健康維持に役立ててもらうことを目標としています。長引く制限下の生活での心の健康維持に着眼点を当てた試みを評価していただきました。聞き慣れないワードである為、周知の為に今後、他大学と合同で活動することも検討しています。 <2:52~3:07>

アトレヴィ三鷹「年末年始のお花の展示」

保健学部 楠田美奈先生と学生ボランティアによって12月28日-1月4日にかけて華道展示が行われました。コロナ禍での活動ということで、普段とは異なる状況下で感染管理に留意しつつ例年通り展示ができ、三鷹駅利用する方へ、明るさと活気を届けられました。

楠田美奈先生

展示作品



作成メンバー



注目! 「ゆるっとこそだて応援トーク」が開催されました

杏林大学地域交流推進室では、地域の子育てを支援する取り組みとして、11月28日(土)11時から三鷹あゆみクリニックにて「ゆるっとこそだて応援トーク」と題したトークイベントを開催しました。講師にNPO法人ぐるすあるは細尾あきさんをお迎えし、保健学部の加藤雅江先生がコーディネーターを務めました。当日は17名が集まり幅広い年齢層において子育ての関心の高さを伺い知る事ができました。参加者一人一人から、自己紹介と併せて子育てに関する悩みを聞き、細尾先生は「子供を応援するには親御さんの子育てを周りで応援する必要がある」「頑張りすぎないこと」、まさに「ゆるっと」していくことが大切だとお話されました。



細尾あきさんのイラスト



三鷹観光協会×志村ゼミ生 お散歩ガイドマップ作成しました!

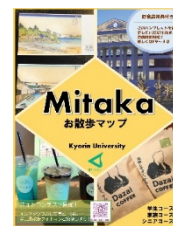
例年行われている「学生が考えた駅からハイキング」活動の一環として、外国語学部観光交流文化学科・志村良浩ゼミナール生がお散歩観光ガイドマップを作成しました。三鷹観光協会にご協力いただき、夏の暑い日も自らの足で地域店舗へ出向いて取材し、地域の魅力を再確認すべく、インスタを開設・投稿しています。 <※三鷹NW大シンポジウム「ミタカミライ研究アワード」で発表されました>

吉祥寺のオススメグルメサイト「キチナビ」でも紹介されました!

Instagramはこちら▶



follow me



社会人の皆さんもオンラインで授業に参加しました!

今年度は殆どの科目において対面授業が叶わず、聴講生、高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム履修生の皆さんはオンライン授業を受講しました。初めての体験で不慣れな方もいらっしゃいましたが、教員の皆様や事務方の協力を得て無事に受講することができました。受講生の方からは「貴重な体験をさせて頂いた」「改めて意義のある授業だった」等、喜びのコメントをいただきました。

